

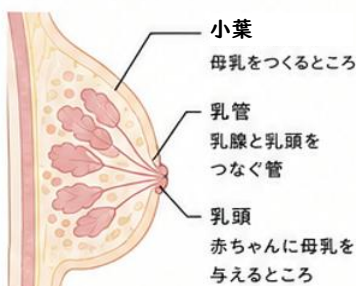
10月はピンクリボン月間 乳がんの事考えてみませんか？

乳がんとは？

乳がんは乳房の中にある乳腺に出来る悪性腫瘍です。

日本人女性の9人に1人が生涯のうちに乳がんにかかるといわれています。

乳房のしくみ



乳腺は小葉と乳管に分けられます。乳がんの95%以上が乳管の上皮細胞に発生し、約5%が小葉に発生します。乳腺は乳房全体にあるためどこにでも発生する可能性があります。

こんな症状はありませんか？

- ☒ しこりがある
- ☒ 乳頭から分泌物が出る
- ☒ 乳房のくぼみ・ひきつれ
- ☒ 赤みや湿疹
- ☒ 左右差が急に変わった



気になる症状がある場合は、年齢に関係なく受診しましょう。



ブレスト・アウェアネス 4つのポイント

1 自分の乳房の状態を知る

普段の乳房の形や硬さを知っておきましょう。



入浴時や着替える時など自分の見て、触ってみましょう。

2 乳房の変化に気付く

- ・ しこり
- ・ 乳頭からの分泌物
- ・ 皮膚のくぼみやひきつれ
- ・ 赤みや湿疹
- ・ 左右差の変化



3 気になる変化があれば早めに受診する

「様子を見よう」と思わず、乳腺外来へご相談ください。



早めの受診が安心と笑顔につながります。

4 40歳になったら定期的に乳がん検診を受ける

症状がなくても、定期的なマンモグラフィ検診が大切です。

2年に1回の検診をおすすめします。



年齢階級別罹患率（乳房・女性・2023年）
（人口10万対）



70代・80代でも乳がんは少なくありません

日本人女性の乳がんは、40代後半から50代に多く発症し、60代以降も減少しません。年齢別罹患率は70代前半で上昇する傾向があります。

「高齢になったから大丈夫」と思って検診をやめてしまう方もいますが、高齢になっても乳がんのリスクは続きます。気になる症状がなくても定期的な乳がん検診を受けましょう。

乳がん検診はあなたの未来を守る第一歩です。



肺炎球菌ワクチンが変わりました!

～定期接種対象の方も、対象外の方もご確認ください～



2026年4月1日より、横浜市の定期接種ワクチンが

プレベナー20® (PCV20) に切り替わりました。

20種類の肺炎球菌に対応し、肺炎球菌による感染症を予防する**結合型**のワクチンです。

※**結合型ワクチン**は、免疫の記憶がつきやすく、より高い有効性が期待されるワクチンです。

横浜市の定期接種対象者

次のいずれかに該当する横浜市民の方が対象です。

1 65歳の方

(誕生日から翌年の誕生日の前日まで)

※接種券は誕生日の**2～3週間前**に
送付されます。



2 60～64歳の方で、

心臓・腎臓・呼吸器の機能、または
ヒト免疫不全ウイルス (HIV) による
免疫機能に1級相当の障害がある方



接種費用

5,000円
(横浜市)



接種回数

1回



同時接種は
できません

当院では、ほかのワクチンとは
2週間以上 間隔をあけて
接種しています。

定期接種の対象ではない方も ご相談ください!

以前、肺炎球菌ワクチン：ニューモバックス®
を接種したことがある方も、



医学的にはプレベナー20®への切り替えが
推奨される場合があります。

前回の肺炎球菌ワクチン接種から
1年以上 経過している方は、
接種をご検討ください。

当院での**任意接種** (予約制)
プレベナー20® (PCV20)
12,000円 (税込)



肺炎球菌ワクチンはなぜ大切?

肺炎は高齢者の入院や重症化の大きな原因のひとつです。
肺炎球菌ワクチンは、肺炎だけでなく、菌血症や
髄膜炎など重い感染症を予防する効果も期待されています。



定期接種も任意接種も**予約制**となります。
ワクチン取り寄せに一週間程度かかりますので、
お早めにご予約をお願いいたします。



患者様にとって、いつも優しく、誠実であること

医療法人
平和会

平和病院



045-581-2211



045-581-7651

